



イケてる PEOPLE

地酒に若い女性の 感性を注ぐ 黒米酒がついに完成

田治米直子さん
(山東町)



創業元禄年間、三百年の伝統を誇る造り酒屋に生まれた田治米直子さんは大学卒業後、大阪の食品包装機材メーカーに就職。平成8年、跡継ぎとして頑張っていた弟さんが事故で亡くなったことから、人生が急展開。商売が嫌いでなかった直子さんが跡を継ぐことに。

「造り酒屋の娘といつても蔵には入ったことがありませんでしたし、吟醸や純米の意味もわかりませんでした」そこから直子さんの酒造りの猛勉強が始まりました。

平成9年11月〜平成10年3月の仕込みのシーズン、広島県にある国税庁醸造研究所で研修を受け、酒造りの基礎を学びました。また、造り酒屋を30〜40軒もまわりました。

「同世代の人たちが酒を造るという同じ目的を持って集まってきたから、ここでの出会いは大きな意味がありました。私の中でもかなりのプレッシャーを抱え、空回りをしているところがあったのですが、悩みを相談しあい、精神的にも助けられました」

このような中で、直子さんは若い人や女性たちに飲まれるお酒を考え出しました。黒米を使ったお酒をつくりたいと、杜氏とらじの中西亨とあさんや父定彦さんに相談。試行錯誤の中で甘いワインのようなフルーティな香りの

するお酒ができあがりました。色も美しい桜色。黒米は鉄、ビタミン、カルシウムなどを豊富に含み、健康食品としても注目を集めています。さて、味の方は？さわやかな甘さが広がり、あと口がすっきりとして、飲みやすい。5月より限定販売がはじまりました。どんな反響があるか楽しみです。

「今年の1月には半月間だけでしたが、蔵の中に入れてもらいました。おやっさんとらじの指導のもと、蔵人さんたちと一緒に米を洗ったり、麴こうじをみせてもらったりと、お酒造りに少しだけですがたずさわることができて、とてもうれしかったです。実際に蔵へ入って肌で感じ、はじめてわかることもたくさんありました。よくおやっさんが、「一粒の米には無限の力があるんだ」といって、米粒を大切にしてください。わが子のように酒を愛する気持ちが少ないはわかったかな…」

これまではこだわりを持って、いいお酒を造っていくだけで充分と思っていたという直子さん。今はそのこだわりを少しでも多くの人に知ってもらいたいと意欲を燃やしています。日本酒に興味のなかった人にも、ぜひ飲んでほしい…と。伝統ある酒蔵に若い女性の感性をプラスされ、新しいお酒が誕生していく…、これからは楽しみです。

協力：田治米合名会社

天然記念物 こうのとり



自然を大切に

たんしんで年金をお受取りの方へ

年金優遇パワーアップ

300万円 + 350万円 + 350万円 = 1,000万円 まで

金利優遇

あなたの街の親近バンク



但馬信用金庫

本店／豊岡市中央町17-8 TEL0796(23)1200

麒麟獅子舞奉納ごよみ

- 居組麒麟獅子舞 10月9日 大歳神社(浜坂町居組)
- 諸寄麒麟獅子舞 7月14日・15日 為世永神社(浜坂町諸寄)
- 浜坂麒麟獅子舞 7月19日~21日 川下祭 10月8日 宇都野神社(浜坂町浜坂)
- 板谷田君麒麟獅子舞 10月13日 岐島神社・長田神社(浜坂町板谷)
- 七釜麒麟獅子舞 9月29日 山宮神社(浜坂町七釜)
- 福富麒麟獅子舞 9月28日 三柱神社(浜坂町福富)
- 和田麒麟獅子舞 10月3日 八柱神社(浜坂町和田)
- 三尾麒麟獅子舞 10月9日 八柱神社・三柱神社(浜坂町三尾)
- 千谷麒麟獅子舞 4月17日 秋葉神社・9月19日 三宝荒神(温泉町千谷)
- 鐘麒麟獅子舞 10月5日 十二社神社(香住町鐘)

まろ 伝説

「麒麟」という生き物をご存じでしょうか？中国では「麒麟」として崇められている空想の動物で、地に住む魔性を祓い、天空の善者を呼ぶといわれています。この麒麟が舞う「麒麟獅子舞」は謎に包まれたまま、脈々と受け継がれています。



麒麟が日本に登場するのは奈良時代で、遣唐使によって中国からもたらされた正倉院御物の象牙の尺や銅鏡などの図案に見ることが出来ます。江戸時代になると麒麟は、広い範囲で使われるようになり、徳川家康を祀る日光東照宮の陽明門、拝殿、表門などに、また京都祇園祭の山鉾の水引や胴掛けにも麒麟が描かれています。

この麒麟が日本古来からの芸能の獅子舞と合体し、麒麟獅子舞が生まれました。中国には麒麟獅子舞はありません。現在、残っているのは鳥取県東部地域から兵庫県浜坂町、温泉町、香住町のみ。他の地域では見ることができません。麒麟獅子舞の麒麟の顔は大きな口、大きな鼻の穴、目の上に太いまゆ、立った耳、そして一本角。ユーモラスな表情はみんなの人気者。麒麟獅子舞の起源については定かではありませんが、現在残っている資料から推測すると、鳥取藩の初代藩主・池田光仲が慶応3年(1650)に因幡の樗谿神社に日光東照宮の御分霊を勧誘したときの祭礼行列に、日光東照宮を象徴する麒麟を頭にした麒麟獅子舞を、因幡東照宮の奉納芸能として舞ったのが始まりとされています。

鳥取に広まった麒麟獅子舞が但馬にも伝えられたのではないかといわれていますが、いつごろのことなのか何もう文獻が残っていないので、実際は謎のまま。特に浜坂町では、8つの地区に伝承されており、祭りの日には神前で奉納したあと、各町内を廻って家内安全・商売繁盛を祈願して舞われます。それぞれが県指定・町指定の無形文化財になっています。



浜坂町宇都野神社の祭礼・川下祭りで行われる麒麟獅子舞。浜で舞い、路地から各家々を舞いながら練り歩く。子供の頭をかんでもらうと健康に育つといわれている。

浜坂町は速く、鳥取は遅いとか。もちろん、浜坂町の8つの舞いも、それぞれに舞い方、囃子のリズムなどが微妙に異なっています。

浜坂町の麒麟獅子舞はそれぞれの神社の氏子たちが、代々舞いを受け継ぐ世襲制で守られてきました。しかし、後継者不足の問題などが起こってきました。そこで、浜坂町をあげて貴重な舞いを残していこうと、浜坂高校の「いきいきハイスクール活動」の中で、高校生たちが浜坂の麒麟獅子舞を勉強し始めました。指導員の熱心な指導が実を結び、文化祭などにも麒麟獅子舞を披露するようになり、後継者の育成が着実に進んでいます。

謎に包まれているからこそ、神秘的な美しさとおおらかさを感じる麒麟獅子舞。大陸の香りを運んでくる文化の名残のようです。

協力：浜坂町教育委員会
宇都野神社麒麟獅子保存会

お酒は20歳になってから

より自然に、より伝統的に

天然乳酸菌発酵醗(もと)の技と味

自然の摂理を巧みに利用し、米と水から由来する乳酸菌を一ヶ月の間、手間ひまをかけて発酵させ、アルコールを生み出す優良な清酒酵母を育成する醗仕込みです。

香住酒造株式会社
〒669-6545 兵庫県城崎郡香住町森646-1

伊馬の自信 KASUMITURU

伊馬の誇り KASUMITURU

香住鶴 真心の酒